

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
データ 分析 表	データ表			データグラフ
	内容	項目数	平均	
	「乳児保育」	15	5.00	
	「3歳未満児保育」	26	4.73	
	「3歳以上児保育」	53	4.66	
	「教育保育の配慮事項」	16	4.69	
	「健康・安全」	29	4.69	
	「子育ての支援」	18	4.17	
	「職員の資質向上」	8	3.88	
計	165	4.62		
総合 評価	<p>今年度は養護を中心に話し合いをする中で、それぞれの職員の学びの年となった。教育・保育の環境づくりや見える化を他施設から学び刺激を得ることで、自施設の質向上へと繋がったと感じる。更なる養護を大切にした教育を意識しながら、プロジェクト保育を展開していきたい。</p> <p>また、自園の弱みである地域との関わりを深めていき、地域貢献に尽力していくことを目標とする。</p>			

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
36.こども・子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の生活に関するアンケートをとり、保護者の率直な意見の検証を図る ・ 引き続き子ども達が安心して過ごせるよう子どもの人権を尊重していく
38.地域との「信認」の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉センターとの継続的な関わりを行う
38.地域との「信認」の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月に1回、5歳児保育の際に地域のゴミ拾いを行う ・ SDGs についての情報を園内に掲示し、社会問題について園全体で考える機会を設ける